

高まる「トリプルブルー」政権の可能性

ポイント① トランプ大統領の支持率低下

連邦所得税をほとんど払っていないとの報道、大統領候補討論会での言動、自身の新型コロナウイルス感染などにより、トランプ米大統領の支持率が低下しました。その分、民主党が大統領と共に議会上・下院も制して「トリプルブルー」政権（青は民主党のシンボルカラー。共和党は赤）が成立する可能性が高まってきたようです。

ポイント② 短期的には景気回復に重点

民主党バイデン政権も当面、景気回復に重点を置くでしょう。ただ、企業支援よりも雇用促進が優先されそうです。米国の失業率は低下してきましたが水準は依然高く、レイオフ（一時帰休）を除いた失業率は上昇しています。新型コロナウイルスに対する活動制限の緩和には現政権より慎重ですが、全国的な制限強化の可能性は小さいでしょう。

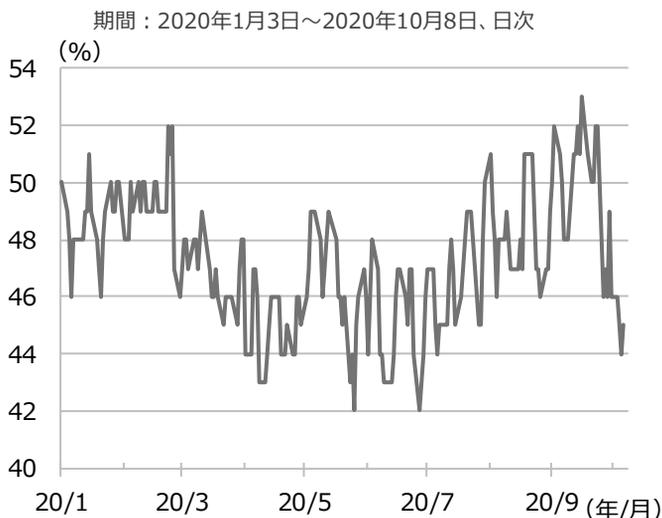
景気対策の財源として企業や高額所得者への増税案が浮上している点は、株式市場にはマイナスでしょう。ただ、設備投資や雇用を増やす企業への減税や補助によって負担が抑制されたり、景気への配慮から増税が先送りされたりする可能性もあります。

ポイント③ 「トリプルブルー」か否かが焦点

対外的には、バイデン政権下でも中国との対立や、経済面での自国優先の姿勢は大きく変わらないでしょう。ただ、高率の報復的関税の賦課などは見直され、環境政策などを巡る多国間の国際協調には、より積極的になることが考えられます。

大統領選の焦点は、どちらの候補が当選するかよりも、「トリプルブルー」が実現するか、大統領や上・下院の党派が一致せずに「ねじれ」が起こり、政策決定が遅れがちになるかに移りつつあるようです。

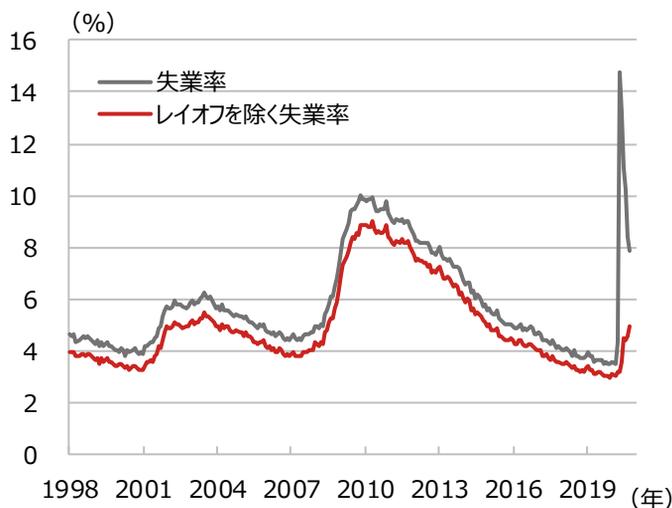
図1：トランプ大統領支持率



(出所) Rasmussen Reports
(https://www.rasmussenreports.com/public_content/politics/trump_administration/prez_track_oct02) より野村アセットマネジメント作成

図2：米国の失業率

期間：1998年1月～2020年9月、月次



(出所) 米労働省労働統計局データ
(<https://www.bls.gov/cps/cpsatabs.htm>) より野村アセットマネジメント作成

重要 イベント	10月16日	米小売売上高、米鉱工業生産指数（9月）
	10月29日	米GDP（国内総生産、7-9月期）速報値

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。